

令和3年度 熱中症に係る救急出場検証

1 月別発生状況（グラフ 1）

月別の発生状況は8月が最多の14件（約39%）、次いで7月の11件（約31%）、9月の5件（約14%）となっています。

昨年同期と比較すると全体的な件数は減少しているが、5月・9月の発生割合が増加しています。

2 年齢・性別発生状況（グラフ 2、3）

年齢別発生状況については、70歳代の10件（約28%）が最多で、次いで80歳代の9件（25%）、30歳代の4件（約11%）となっており、65歳以上の高齢者については21件（約58%）となっています。

性別発生状況については、男性22件（61%）、女性14件（39%）となっています。

3 気温別発生状況（グラフ 4～7）

期間内における最高気温30℃以上（夏日）の日数は47日（昨年度52日）あり、うち35℃以上（真夏日）の日数は1日（昨年度10日）でした。また、1日の平均気温が30℃以上ある日数は1日（昨年度6日）でした。

今年度は昨年度と比較して、7月中の気温が比較的高く、8月中の気温が比較的低い状況でした。

救急発生時の気温状況については、26℃以上31℃未満の21件（約58%）が最多で、次いで31℃以上の9件（25%）、21℃以上26℃未満の5件（約14%）となっており、気温が26℃以上で救急件数の増加がみられます。

4 事故種別・傷病程度別発生状況（グラフ 8、9）

事故種別発生状況については、急病の28件（約78%）が最多で、次いで労働災害の5件（約14%）、運動競技の2件（約6%）となっています。

傷病程度別については、軽症の27件（75%）が最多で、次いで中等症の8件（約22%）、重症の1件（約3%）となっており、約3割は入院加療が必要な状況となっています。

5 発生場所別状況（グラフ 10）

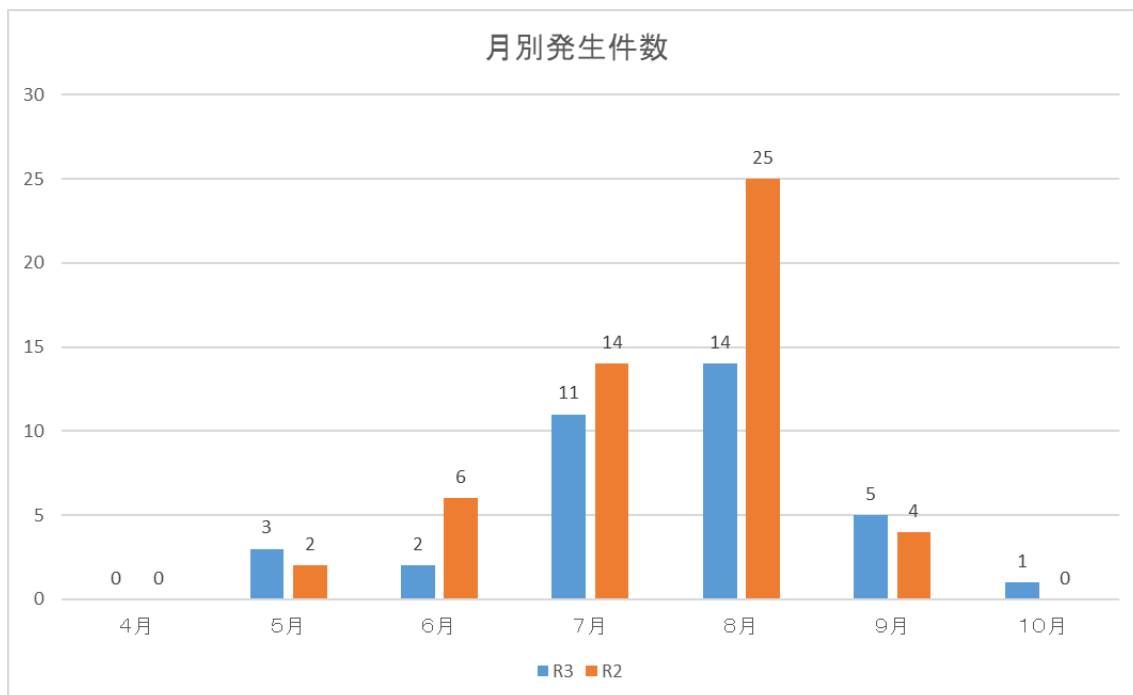
発生場所別状況については、屋外での発生は18件（50%）、屋内での発生が18件（50%）で、うち自宅内での発生が14件（約39%）となっています。

屋外での発生はもちろんのこと、自宅にいても発生するという事に注意する必要があります。

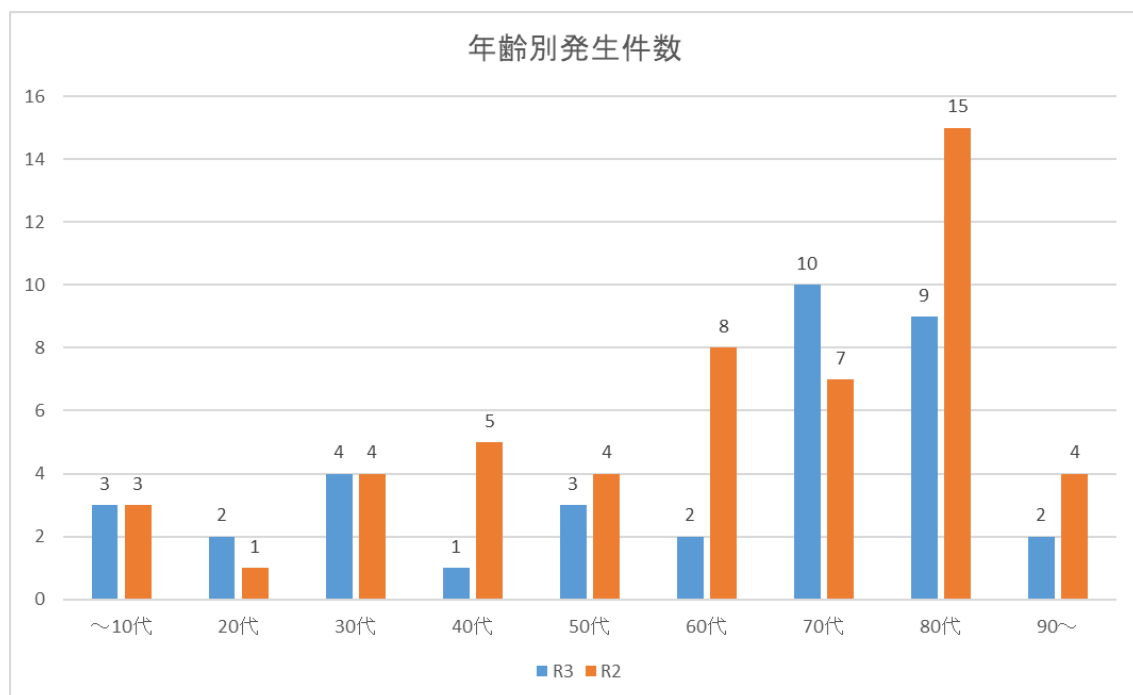
6 時間帯別発生状況（グラフ 11）

救急発生の時間帯状況については、13時～16時の15件（約42%）が最多で、次いで9時～12時の11件（約31%）、17時～20時の7件（約19%）となっています。

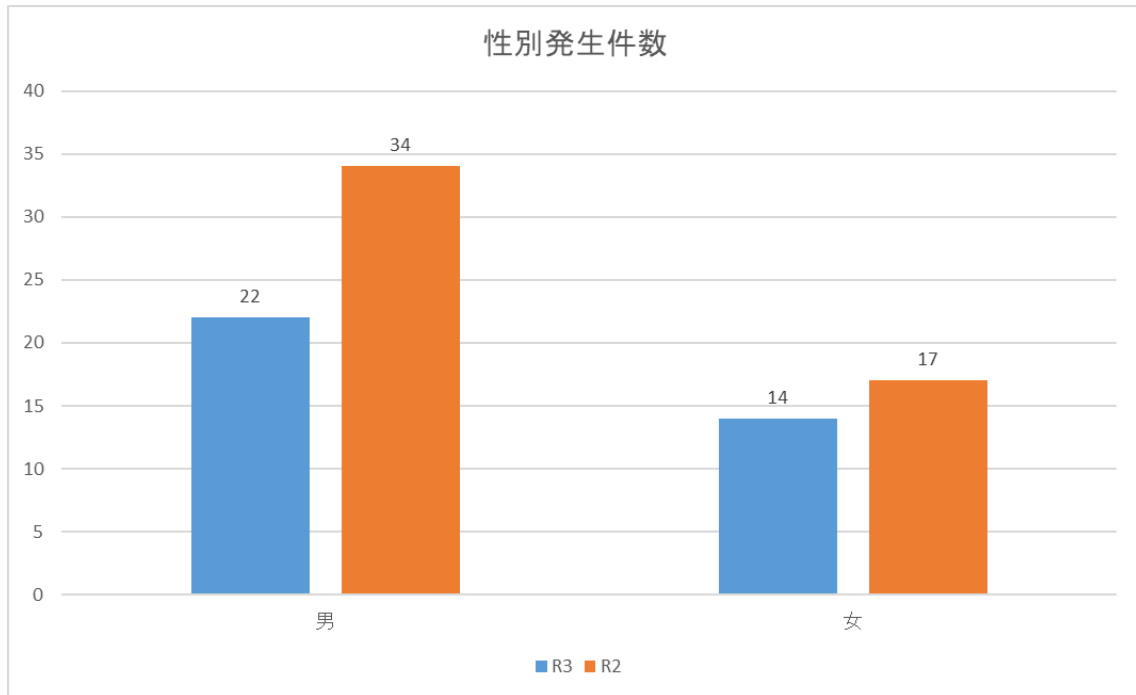
グラフ 1



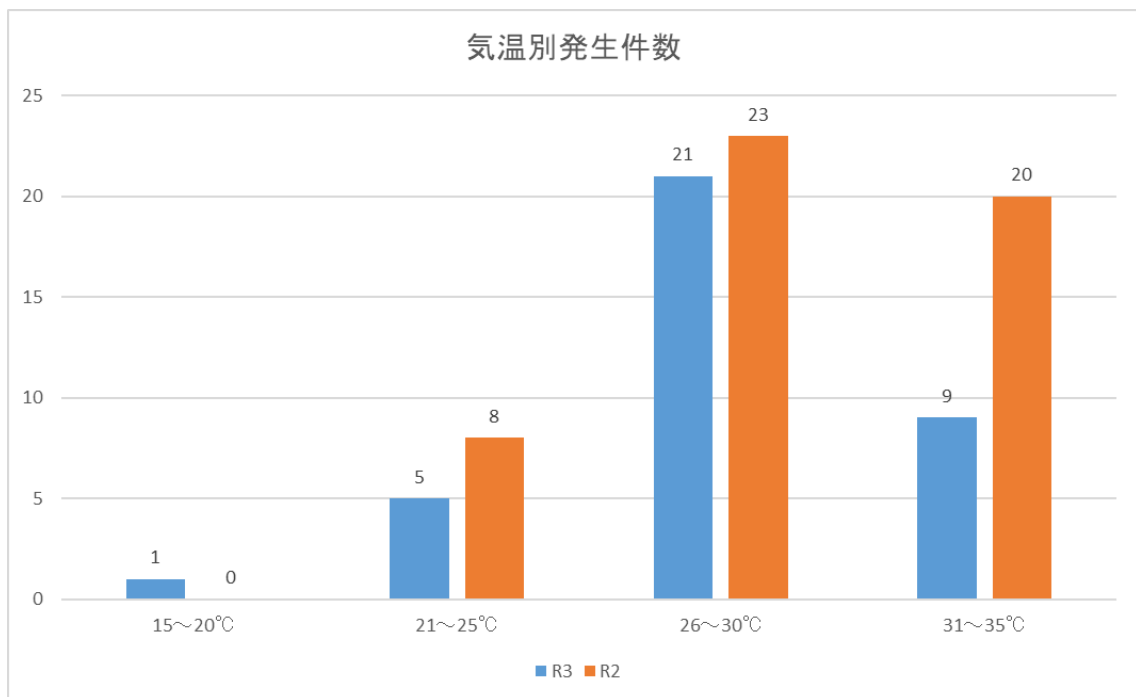
グラフ 2



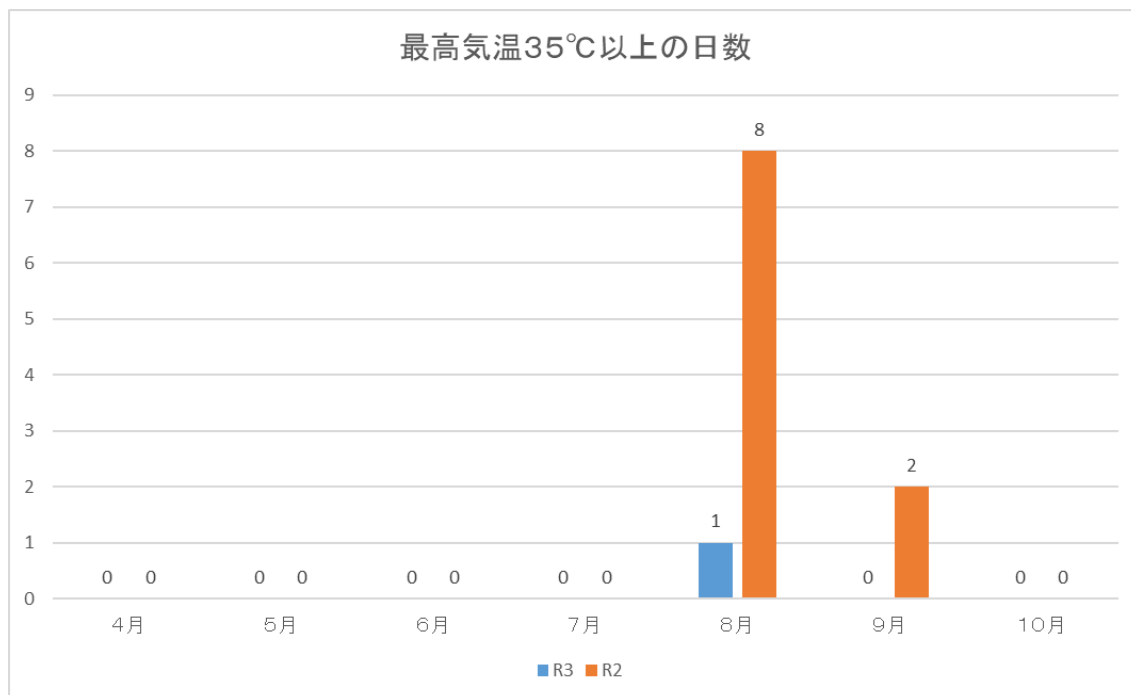
グラフ 3



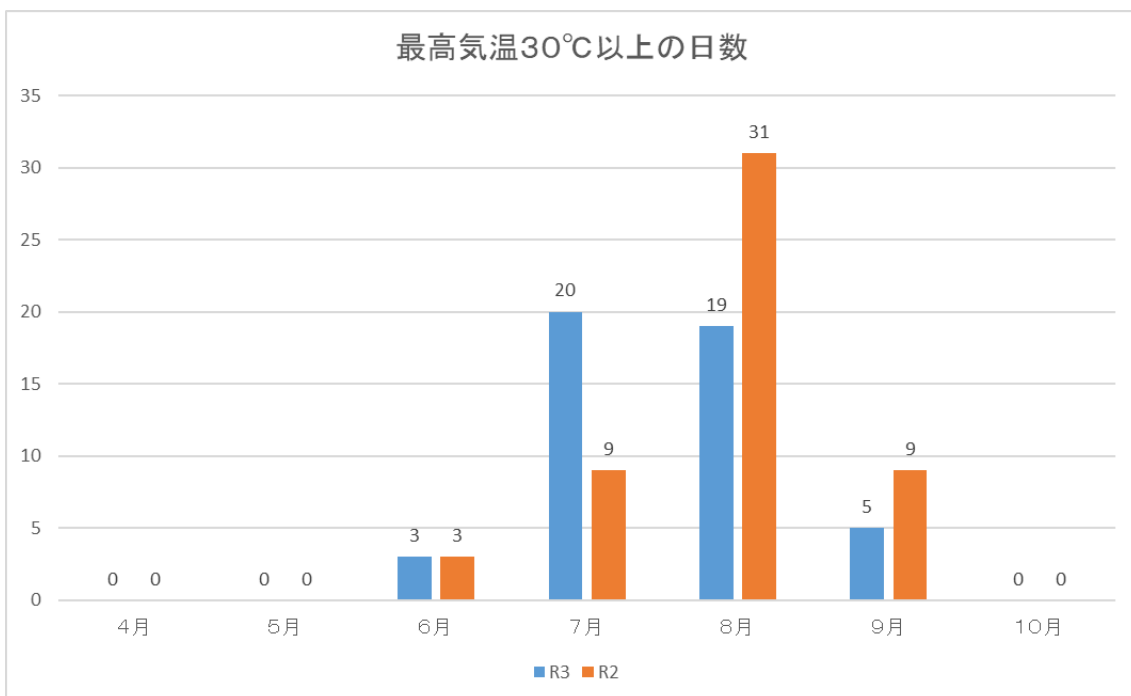
グラフ 4



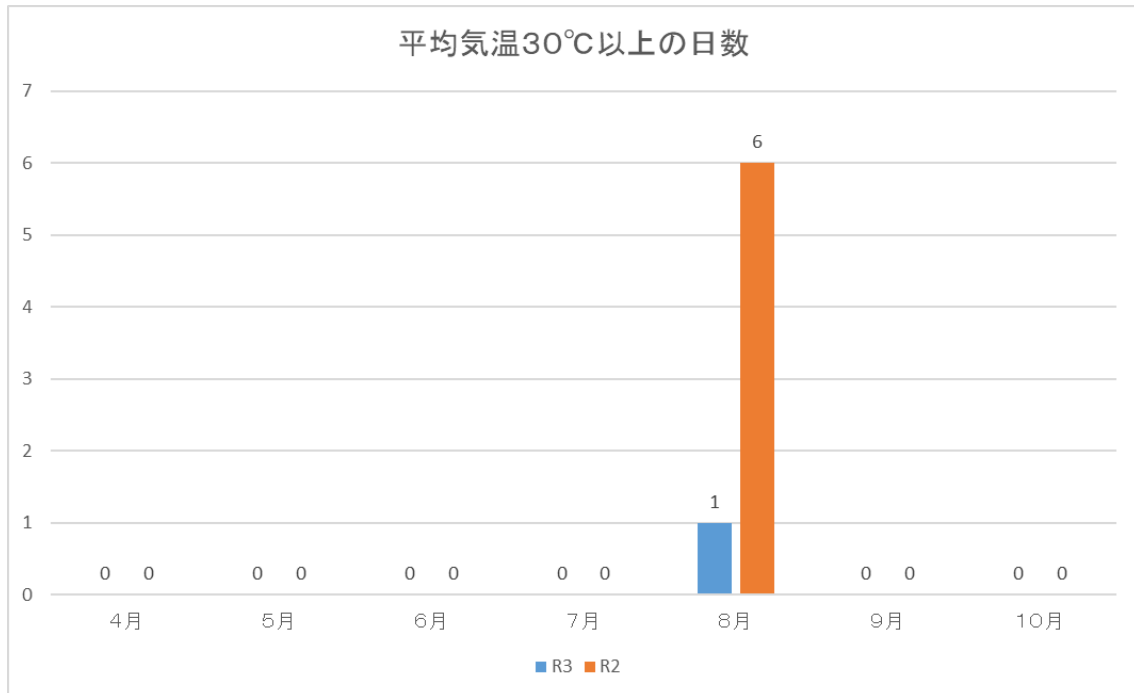
グラフ 5



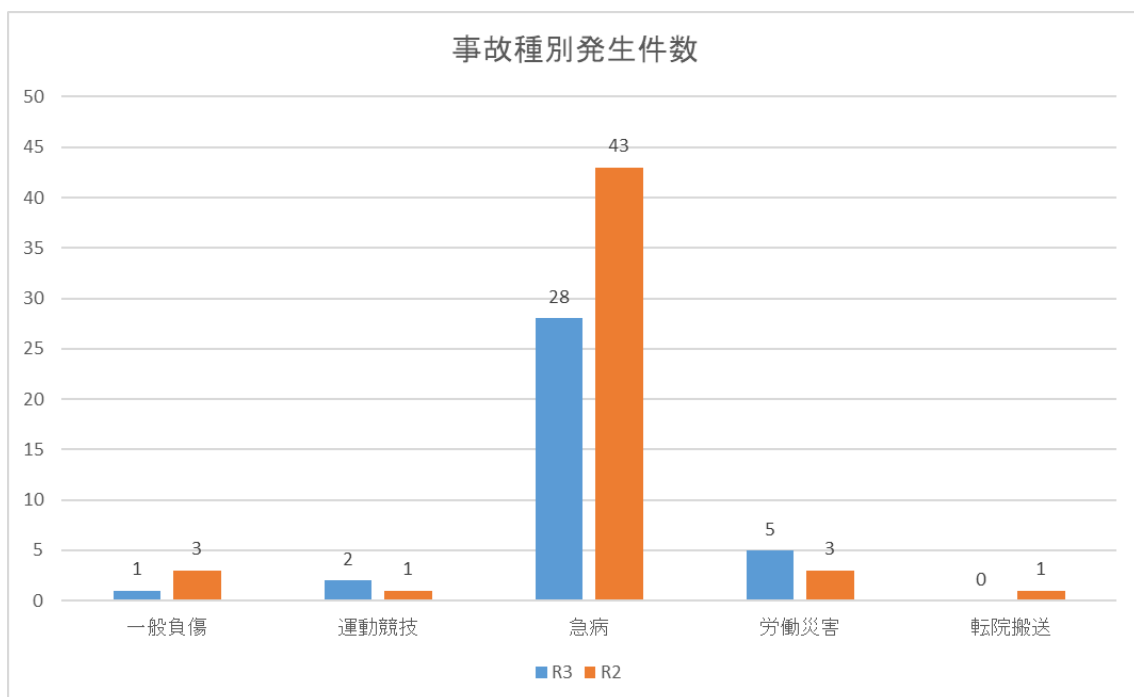
グラフ 6



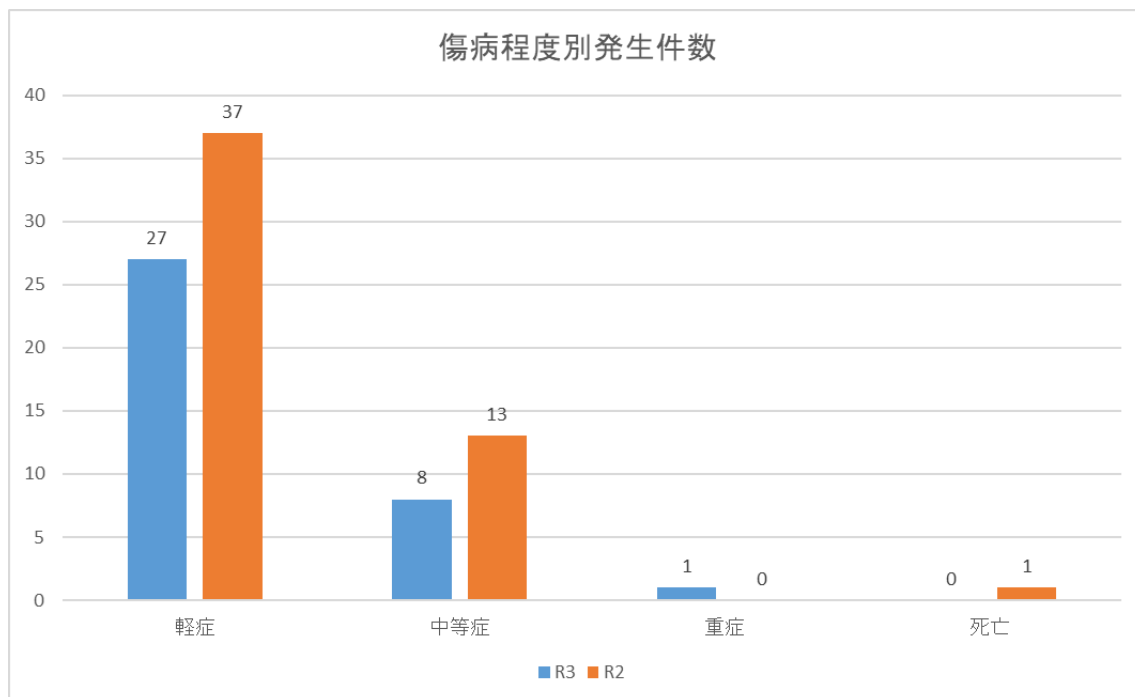
グラフ7



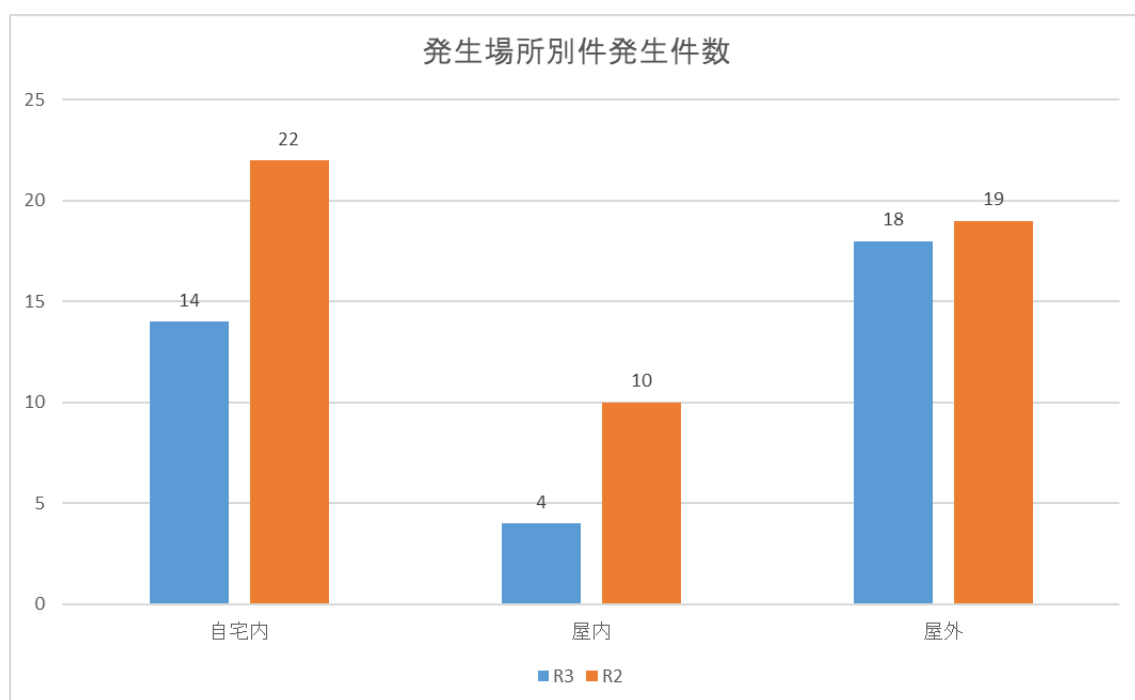
グラフ8



グラフ 9



グラフ 10



グラフ 1 1

